

| | | | | | | | |
|--------------------|--|---|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 介護過程Ⅲ Process Planning for Care Work III | | | ナンバリング No. | J3-005 | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 久保 由佳 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2, DP3, DP5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>介護過程Ⅰ・Ⅱの授業で学んだ基礎をふまえて、実践的展開ができる能力を養う。特に介護施設に入所している利用者を対象とし、自立に向けた介護過程の展開方法を学び、理解することを目的とする。</p> <p>①利用者の生活を考慮し、状況に応じた最善の支援方法を選択できるようにする。 ②専門知識や技術を統合した上で、自立に向けた介護過程を展開できるようにする。 ③専門職の一員として他職種との連携の必要性を説明できるようにする。 ④専門職としての関わり方や介護福祉士として果たすべき役割を述べるができるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義の他、グループワークも行う。第2・3回目では、施設介護実習Ⅰで受け持った利用者をもとに介護過程を展開する。その後、第5～8回目で、それらが最善の支援方法になっているか再検討(グループワーク)し、発表を行う。第11～14回目では、紙上事例を用いて介護過程を展開する。介護過程の展開が主となるが、介護施設での実践内容等も講義として取り入れる。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | アセスメントから介護計画の立案までを行うことができる。 | | | | | |
| | L03 | 介護における専門知識や技術を統合し、利用者のニーズや個別性に応じた介護過程を展開することができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 各課題は添削後、返却(フィードバック)し、必要に応じて個別指導を行う。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 最新・介護福祉士養成講座 第9巻「介護過程」中央法規出版 その他、既習のテキストや参考書、授業での配布資料を活用する。 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●グループワーク時は積極的に意見交換し、学びを共有すること。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S 評価は、使用する教材を準備し、必要なことはノートにとっていること。授業に集中し、積極的に取り組んでいること。 | | 10 | | |
| レポート/作品 | S 評価のレポートは、各構成要素が適切に記述できていること。事例を的確に捉え、利用者の視点で考えられていること。 | | 20 | 40 | |
| 発表 | 第8回目の発表内容を以下の視点で評価する。①再検討した事例を適切に捉えている。②利用者の視点で考えられている。③専門知識・技術を活用している。④発表態度(声の大きさや言葉づかい) | | | 10 | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 介護福祉士国家試験に準じた内容を出題する。 | | 20 | | |
| その他 | | | | | |
| 合 計 | | | 50 | 50 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業のねらい・成績評価の方法など) 介護過程における既習知識の確認 |
| | 事前・事後学習 | 介護過程Ⅰ・Ⅱの学習内容と資料を整理する。 |
| 2 | 授業内容 | 施設介護実習Ⅰで受け持った利用者の介護過程の展開① 個人ワーク 【レポート1:施設介護実習Ⅰの事例をもとに介護過程を展開、提出期限は授業で指示】 |
| | 事前・事後学習 | 施設介護実習Ⅰで受け持った利用者のアセスメントを行い、アセスメント用紙1～3を記入する。 |
| 3 | 授業内容 | 施設介護実習Ⅰで受け持った利用者の介護過程の展開② 個人ワーク |
| | 事前・事後学習 | 前回までのアセスメントにもとづき、施設介護実習Ⅰで受け持った利用者の介護計画を立案し、援助計画用紙に記入する。 |
| 4 | 授業内容 | 介護過程の実践的展開① 専門知識・技術を統合した最善の支援 |
| | 事前・事後学習 | 授業のノートや資料を整理する。介護過程の各プロセスの方法と留意点をノートに書く。 |
| 5 | 授業内容 | 介護過程の実践的展開② 施設介護実習Ⅰの事例をグループで再展開(情報の整理、分析・解釈・統合) |
| | 事前・事後学習 | グループで話し合い、アセスメント用紙1～3をまとめる。事例に関連する専門知識を挙げ、テキスト等で調べる。調べた内容を統合する。 |
| 6 | 授業内容 | 介護過程の実践的展開③ 施設介護実習Ⅰの事例をグループで再展開(ニーズ・課題の抽出、目標の設定) |
| | 事前・事後学習 | グループで話し合い、援助計画用紙をまとめる。各プロセスの方法と留意点を確認する。利用者のための介護過程となっているか見直す。 |
| 7 | 授業内容 | 介護過程の実践的展開④ 施設介護実習Ⅰの事例をグループで再展開(計画立案) |
| | 事前・事後学習 | グループで話し合い、援助計画用紙をまとめる。各プロセスの方法と留意点を確認する。利用者のための介護過程となっているか見直す。 |
| 8 | 授業内容 | 介護過程の実践的展開⑤ グループで再展開した内容の発表、まとめ |
| | 事前・事後学習 | 他グループの事例や介護過程の内容をよく読む。介護過程のプロセスを再確認する。 |
| 9 | 授業内容 | 介護施設における介護過程の実際①(展開事例の紹介) |
| | 事前・事後学習 | 授業のノートや資料を整理する。施設での事例をもとに、情報を整理して利用者の視点で考えてみる。 |
| 10 | 授業内容 | 介護施設における介護過程の実際②(認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式、24時間生活シート、ひもときシート) |
| | 事前・事後学習 | 授業のノートや資料を整理する。施設介護実習Ⅰの担当利用者をもとにセンター方式シートを書いてみる。 |
| 11 | 授業内容 | 施設入所者の事例を用いた介護過程の展開[事例①] アセスメント(個人ワーク) 【レポート2:紙上事例①による介護過程の展開、提出期限は授業で指示する】 |
| | 事前・事後学習 | 紙上事例をよく読み、アセスメントを行う。アセスメント用紙1～3を記入する。事例に関連する専門知識を挙げ、テキスト等で調べる。調べた内容を統合する。 |
| 12 | 授業内容 | 施設入所者の事例を用いた介護過程の展開[事例①] 計画立案(個人ワーク) |
| | 事前・事後学習 | 前回までのアセスメントにもとづき、介護計画を立案する。援助計画用紙を記入する。 |
| 13 | 授業内容 | 施設入所者の事例を用いた介護過程の展開[事例②] アセスメント(個人ワーク) 【レポート3:紙上事例②による介護過程の展開、提出期限は授業で指示する】 |
| | 事前・事後学習 | 紙上事例をよく読み、アセスメントを行う。アセスメント用紙1～3を記入する。事例に関連する専門知識を挙げ、テキスト等で調べる。調べた内容を統合する。 |
| 14 | 授業内容 | 施設入所者の事例を用いた介護過程の展開[事例②] 計画立案(個人ワーク) |
| | 事前・事後学習 | 前回までのアセスメントにもとづき、介護計画を立案する。援助計画用紙を記入する。 |
| 15 | 授業内容 | 実施・評価の記録方法、介護過程記録時の留意点(まとめ) |
| | 事前・事後学習 | これまでの学習内容を整理し、介護実習のための準備をする。 |